

科目コード 3152181

配当学年 3・4

科目名 思春期青年期心理学

教員名 猪股 剛

【授業の到達目標】

- ・現代における思春期青年期の特徴と課題を臨床心理学的に理解できるようになる。
- ・それぞれの時期に沿った発達の課題を理解できるようになる。
- ・思春期・青年期の深層心理学的なイメージ表現を知り、その特徴を理解できるようになる。

【授業のテーマ】

思春期青年期の発達を理解すると共に、その時期に特有な病理を知り、思春期青年期のさまざまな表現に触れながらそれを味わうことを通じて理解を深めていく。

【授業概要】

思春期青年期とは、それまで子どもとして生活してきた人間が、主体性を持って自分自身の人生を歩み始める時期である。しかも、学校・家庭・社会の三つの生活領域を同時に持ちながら、それぞれを生きる課題を持つことになる極めて複雑で変化に富んだ時期である。この授業では、思春期青年期の課題や病理を一つ一つ取り上げながら、私たちの中に生きている青少年女性にあらためて思いを馳せてみたい。

【準備学習】

授業の中で紹介した書籍や図録や映画などに触れて復習することを通じて理解を深める(1時間)。次回の授業範囲を予習し、専門用語の意味等を理解しておく(30分)。授業で示したレポート課題を期限までに作成し提出すること(30分)。

【授業計画】

- 1.思春期青年期のライフサイクル的意味
- 2.大人になることの難しさ-イニシエーション
- 3.不登校という現象
- 4.反社会的行動と「不良/ヤンキー」の心性
- 5.ひきこもりの心性
- 6.オタクと他者
- 7.食と摂食障害
- 8.自傷と自殺の心性
- 9.性と身体
- 10.オカルト好きと宗教性
- 11.思春期青年期と発達障害と統合失調症
- 12.コミュニケーションの過剰と思春期
- 13.家族と思春期
- 14.中年期と思春期
- 15.まとめと到達度の確認

【評価方法】

- ・平常点(授業態度、授業での発言、コメントシートの内容)20%
- ・到達度の確認80%

【テキスト】

使用せず
(テキスト ISBN)

【参考文献】

授業中に随時提示する。

【オフィスアワー】

適宜相談に応じるが、事前にアポイントを取ること。

【学生へのメッセージ】

思春期青年期心理学は、まさに皆さん自身がいま生きている心の状態だと思います。自己理解を深めると共に、この変化の多い時期の豊かな心の状態を学んでください。